

今週の聖句

そこでも、わたしは宣教する。そのためにわたしは出て来たのである

マルコによる福音書 1章 38節

ねらい

- ・ イエス様が何のために世に来られたのかを考える。
- ・ イエス様が生涯を通じて貧しい人、傷ついた人、見捨てられた人、さげすまれた人のもとに行かれたことを確認する。

説教作成のヒント

- ・ 「そのためにわたしは出て来た」の「そのため」とは何のためだろうか？

豆知識

- ・ シモンとそのアンデレは網を捨ててイエスに従った弟子たちであるが、彼らが家族と全く切り離されてしまっていなかったことが明らかとなる。むしろイエスは彼らの家を訪れ、その家族にも恵みをしめされる。のちにシモンは伝道旅行にも自らの妻を伴う（コリント 9:5）。

説教

「生老病死」という漢字を大きめの紙に書いておく。

みなさんはこの言葉「生老病死」を知っていますか？これは教会ではなくてお寺でよく聞かれる言葉です。この言葉の意味は、避けることの出来ないこの世の人間の4種類の苦悩が生きて、年をとること、病気をすること、死ぬことの4つだということです。

みなさんは何故、病気やけがをしたり、年をとったりするのでしょうか？イエス様の時代の人たちは、人が病気やけがをしたり、死んだりしたりするのは、その人か、その先祖が神さまに対して何か悪いことをしたからだとか、悪霊にとりつかれたからだとか考えていました。みなさまだったらどう思いますか？この中で大きなけがをしたことのある人はいますか？病気で入院した人は？もしある人がやってきて「そのけがや病気はあなたが神さまに対して悪いことをしたからですよ」と言われたらどうでしょう？「あー、ばちがあたった！」と思いますか？そんなこと思わなくてもいいんですよ、もちろん、危ないことをするとけがをする確立は高くなりますが、みなさんの病気やけがは、みなさんの日ごろの行いとは関係ありません。でも、なぜ私たちに病気やけががあるのかはわかりません。もしかしたら最初の言葉のように、私たちが避けて通ることの出来ない苦しみであるのかもしれない。しかし、そんなとき、イエス様は、苦しむ私たちをほってはおかれません。今日の聖書には、苦しむ人々を救われるイエス様の姿が書かれています。イエス様は色々な場所で、色々な人の病気を治したり、悪霊に取り付かれた人を治してあげました。そして、イエス様は「近くのほかの町や村へ行こう。そこでも、わたしは宣教する。そのためにわたしは出て来たのである。」とおっしゃいました。これは、イエス様の宣教が、聖書の言葉を教えることだけではなく、病気の人を治してあげることも含まれていることを意味しています。病気を治すことも、神さまのお話をする 것도、イエス様にとっては、神さまのことを伝える「宣教」ということに他ならないのです。

宣教とは、「みんな神さまの愛する子どもですよ」「神さまはみんなのことを大切に思っていま

すよ」ということを伝えることなのです。

今日の私たちの世界にイエス様が来て、病気や怪我をなおしてくれることはないかもしれませんが。しかし、イエス様はいつも「神さまはみんなのことを愛していますよ」「みんなのことを大切におもっていますよ」と宣教しておられます。そのお言葉をしっかりと受け止め、神さまにいつもありがとうございますをいみましょう。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は ” こどもさんびか ” (日キ版) より

53番

改訂119番

話してみよう

私たちのまわりについて

- ・ 近くに別の教会学校があるでしょうか。
- ・ 私の近くにクリスチャンがいますか。
- ・ 教会学校に友達をさそってみよう。

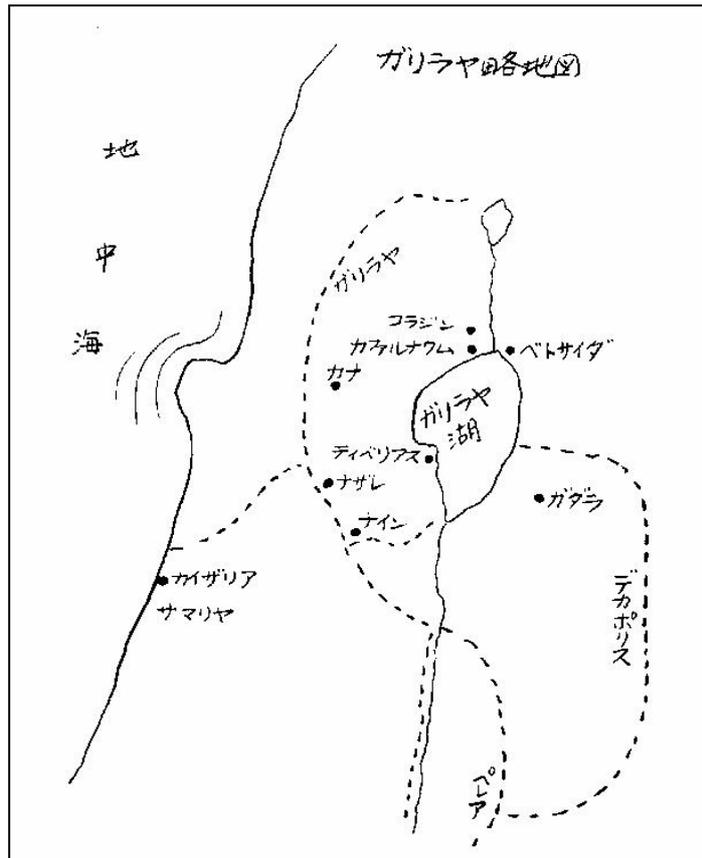
イエスさまの時代のガリラヤ地方を調べてみよう。

やってみよう

新約時代の地図を参照する。

- ・ ガリラヤ湖を見つけよう
- ・ ガリラヤ湖のまわりの村や町を見よう

・ 「みことば帳」にガリラヤ湖の略図と町の名をかきこんで、町の名前をおぼえておこう。
イエスさまと弟子たちはガリラヤ全土をめぐり「神の国」を宣べ伝え、病人をいやした。



暗唱聖句

わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい。

マルコによる福音書 2章 11節

ねらい

- ・他者のための祈りについて考える。
- ・イエス様への信頼について学ぶ

説教作成のヒント

- ・4人のチームワーク、5人の友情も大切な物語の複線ではあるが、メインは四人のイエスに対する深い信頼である。

豆知識

「中風」 昔は「中気」や「中風」と呼ばれる突然に手足が動かなくなったり、言葉が話せなくなったり、意識がなくなったりする発作。今日は「脳卒中」という。

脳の血管が詰まって血液が流れなくなったり(虚血性脳卒中：脳梗塞)、脳の血管が裂けて出血する(出血性脳卒中：脳出血、クモ膜下出血)など、脳の組織が傷害されることが原因であるとされる。

「屋根」 現地は降雨の少ない気候のため、屋根は平坦で梁の間に枝をしき、土で固めた簡単なものであった。

説教

みなさんにはお友達がいますか？そのお友達が病気になったらどうしますか？担架を担いで病院まで連れて行きますか？

あるところにとっても仲の良い友達5人組がいました。この5人は何をするにも一緒、困ったときは助け合い、うれしいことがあるとみんなで喜びました。色んな話をしましたし、もしかすると仕事も一緒にしていたかもしれません。

そんなある日、仲間の一人が「中風」という病気になってしまいました。この病気は脳の血管が詰まったり破れたりして、体の手や足が麻痺したり、言葉が上手に話せなくなったりする病気です。

今まで、どこに行くにもみんな一緒だったのに、何をするにもみんな一緒だったのに、色んな話をしたのに、それが出来なくなってしまったのです。みんなはとても悲しみました、そして色々考えました。

そして、きっと色々話し合って、みんなが出した答えが「イエス様にお願いしてみよう」というものでした。きっと、みんなの答えは一つだったと思います。「最近ガリラヤ地方で病気や怪我を治したり、悪霊を追い出したり、神様のことを教えている、あのイエス様のところに行こう！友達をきっと治してくれるはずだ！」そんなふうにみんなが思ったんだと思います。

そして、彼らは中風になった友達をイエス様がいるという家に連れて行きました。しかし、家には人が一杯で、自分たちが入る隙間はありません。でも中からは、温かな雰囲気伝わってきて、中にいるのがイエス様であることはわかります。そんなとき、4人は顔を見合わせました。中風の友達も目を合わせ「そんなことまでしなくていいよ！」と目で訴えました。しかし、4人はその目線には笑顔で答え、四人がそれぞれ担架の端をもって屋根の上へ上がって行きました。

4人はそれぞれ、みんな「イエス様をお願いしよう！」という思いで一つになっていました。そして上にあがると、屋根をはぎ、イエス様のおられるもとまで友達の担架をつり下ろしたのです。

イエス様はそれを見て「子よ、あなたの罪は赦される」とおっしゃいました。中風の人ではなく、中風の人を連れてきた4人の友達を見て言われたのです。イエス様はきっと、この4人の友達がどれほどこの病気になった友達のことが大切か、よくご存知だったのでしょ。う。「あなたを思う、あなたの友人の心は、とてもすばらしいものですよ、あなたは友達からも、神さまから愛されていますよ」そんな思いがこもっていたのでしょ。う。

そして、この人の病気はイエス様によって癒され、今度は5人で一緒に自分達の村に帰ってきました。そして5人の心の中にはきっと「イエス様ありがとう」という気持ちで一杯だったことではしょ。う。

分級への展開

さんびしよ

* 讚美歌は「こどもさんびか」(日キ版)より

57番

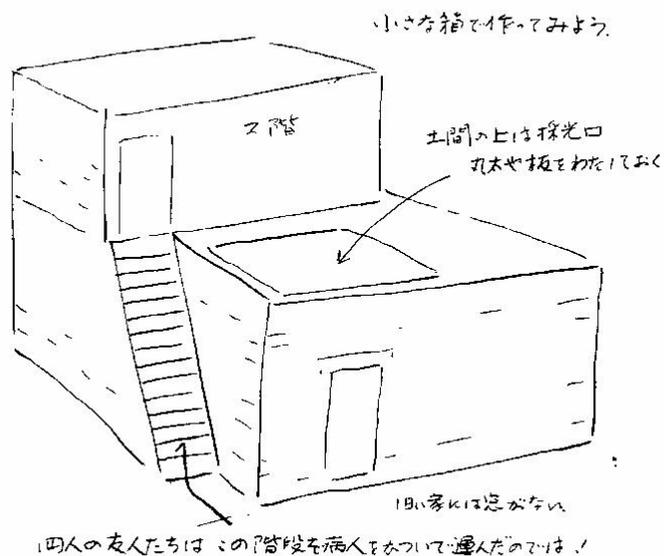
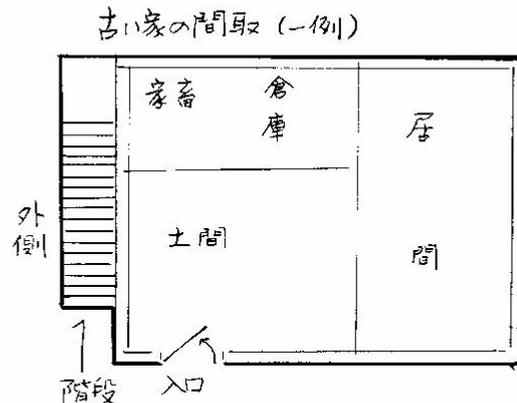
改訂27番

話してみよ

- ・ 中風の歩けない病人を四人の友人が運んできた
- ・ 大勢の人がいて近づけない
- ・ 屋根をはがして穴を開け、病人を天井からおろした
- ・ 主は「子よ、あなたの罪はゆるされた」とおっしゃった。(イエスさまの権威)

やってみよ

イスラエルの伝統的建築の典型の一つ。日干し煉瓦で箱型の壁を造り、天井部分に大きい丸太を並べ、その上に細い枝や木を重ねて粘土をひろげて塗り固め陸屋根にした。陸屋根の一部は開口部として残しておき採光し、取り外し出来るように丸太や板を渡しておく。その下は入り口近く土間になっていた。屋上に上る階段は外につけていた。



暗唱聖句

これはわたしの愛する子。これに聞け

マルコによる福音書 9章7節

ねらい

- ・ペトロの不理解が目を引くが、これは神による弟子たちのための出来事であった。神は私たちに必要な示しをお与え下さる。

説教作成のヒント

- ・イエスの姿が変わる2節後半から8節までの物語において、イエスが行為の主体となることはない(2節後半の「イエスの姿が...変わり」とあるが、これは原文では「姿を変えられ」である)。また、この段落に書かれた出来事は8節を除いて全て「弟子たち」のために起こっていることである。すなわち、イエスの姿が変えられたのは「弟子たち」のためであり、エリヤとモーセが現れたのも「弟子たち」のためなのである。

豆知識

「変容主日」 顕現節の最終主日を、主の変容日として守る。

伝統的な考え方では、この世的な意味でのキリストの勝利(イスラエルの解放)を願う弟子達に対し、自らの受難を予言し続けたキリストが、これから受ける苦難に際して信仰し続ける希望を与えるためにこの奇蹟を行ったと伝えられる。

「これはわたしの愛する子、これに聞け」 救い主について書かれている詩篇 2:7 からの引用。

説教

おたまじゃくしとかえるの写真。ふぐの普通の状態と針でふくらんだ写真。かめの手足が出ている状態とひっこめた状態の写真を用意しておく。

今日は「変容主日」です。この「変容」とはどういう意味かわかる人はいますか？そうですね、容姿が変わる、姿かたちが変わるという意味です。イエス様は三人の弟子達と一緒に高い山に登られ、そしてそこで、その顔は真っ白に輝き、その姿が変わったのです。

みなさんは姿が変わったことありますか？では、姿が変わるものって何か知ってますか？

(「かえる」という子がいれば「正解」といって)はい、そうですね、「かえる」も姿を変えますね。これは何ですか？そう、おたまじゃくしです。このおたまじゃくしが成長するとこうなります、これはかえるですね。でもこれは姿が変わるというよりは、成長して体がかわると言えますね。では、これはどうでしょうか？(といって、カメの写真を見せる)そうですね、カメは自分の手足と頭を甲羅の中に隠して違う姿になりますね。ではこんどはどうでしょうか？(といってふぐの写真を見せる)そう、このふぐもおなかに長い針が出て、その針があるときとないときでは大きくその姿が異なります。

ではかえるはともかく、カメやふぐはどうして形が変わるのでしょうか？別にその日の気分を変えているわけではありません、彼らは、自分たちの命を守るために、形を変えているのです。ちなみに昆虫が姿をかえることを「メタモルフォーゼ」と言いますが、イエス様の姿が変わったこ

とは「メタモルフォー」という言葉が用いられています。すなわち、イエス様の姿が変わったのにも理由があったのです。この理由は、昆虫やふぐなどのように自分の命を守るためのものではなく、心細くなっていた弟子たちのための変容でした。今日の福音書の少し前、8章31節にはイエス様がご自身の十字架の死を弟子たちに告げた物語が記されています。もしかすると弟子たちは、このイエス様のお話を聞いて心細くなったのかもしれませんが、また色んなことを考えて、不安になってしまったのかもしれませんが。

イエス様はそんな彼らのために、十字架の死の後に、ご自身がどのような姿になるのかをお示しになられたのです。光り輝くイエス様の姿は、復活し、栄光に入る主の姿です。弟子たちが信じて従っているイエス様とは、私たちが信じ、従っているイエス様とは、私たちの不安を恐れを全てご存知で、そして、そんな私たちをしっかりと支え、ご自分のもとへ導いてくださるお方なのです。安心して、主に信頼してまいりましょう。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

36番

改訂120番

話してみよう

モーセはどんな人でしょう。

エリヤはどんな人でしょう。

- ・エジプトからイスラエルの民を導き出した
- ・バール(偽りの神)に反対、創造主を信じる
- ・神さまから「十戒」をもらった
- ・...本当の預言者
- ・...律法

イエスさまは、神様の最も愛された子

- ・モーセ(律法)とエリヤ(預言者)の完成者
- ・...

○変容を見た弟子達(ペトロ、ヤコブ、ヨハネ)は「三つの小屋を建てましょう」という

○「わたしの愛する子、これにきけ」

それぞれの御堂ではなく、完成者イエスさまこそ心の宮にお迎えすること。

やってみよう

汚れがある白布や白い洋服(Tシャツ)を用意する。

洗濯機でも手洗いでも洗ってみる。確かに綺麗になるが、元々の白さ、しかも輝く白さにはならない。

イエス様の衣が白くなったのは人間の力ではなく、神さまの力、輝きを神さまが与えたことを覚えましょう。

今週の聖句

「それから、“霊”はイエスを荒れ野に送り出した。」

マルコによる福音書 1章 12節

ねらい

受難の期節である事を頭においておく。

神の子、主イエス様が受難されたことを覚える。

サタンの誘惑、でも神さまは共に居られた。

説教作成のヒント

- ・ イエスが送り出された荒れ野、四十日間の滞在など、意味のある表象が出てきます。
- ・ マタイやルカにある荒野の誘惑の場面と異なり、野獣と一緒におられた、天使たちが仕えていた、等、終末的な雰囲気の中で、神が共に居られた事がうかがえる。

豆知識

- ・ “霊”(原文、定冠詞付き)は、神の霊、すなわち聖霊を意味する。
- ・ 荒れ野は、イスラエルの人にとって、実は神聖な場所。神の律法もそこで授けられた。
- ・ 獣と天使の登場は、同時代のユダヤ教資料を参照すれば、終末の至福の時である。サタンの誘惑時も、神共に居まし、喜び溢れる荒れ野であった、事に注意。

説教

神さまが、「さあ、荒れ野に行きなさい」と言われたので、イエス様は急いで、荒れ野に出かけました。荒れ野ってね、岩がゴツゴツしていて、草も木も、全然ないところなんだよ。そういう場所だから、ふだんは動物たちの近寄らないんだ。でもね、イエス様が歩いていかれると、不思議不思議、動物たちも後を追いかけて行ったよ。

キリンやライオン、ゾウにカバ、シマウマ、リス、ウサギ、サイ、あと何がいると思う？ いろんな動物たちが、ぞろぞろぞろぞろイエス様を追いかけてきます。普段は仲の悪い動物たちも、きょうはイエス様と一緒に、仲良しにしています。空から、天使たちも仲間入り。みんなで何をしているのでしょうか。

実はね、イエス様のことを、何とか迷わせようと、サタンという悪い悪魔が狙ってました。サタンってどんな顔してると思う？・・・こわーい顔かな、きたなーい顔かな、・・・いいえ、顔は素敵なんです。イエス様に何とかして悪いことをさせようと、誘惑してくるのです。おなかがすいたら、「食べ物を出せば、その石をパンに変えてさ」とか言うのです。イエス様は神様の子供だから、お祈りして、エイ、ヤッと変えることもできるかもしれません。そんな気がします。でも、それが、「誘惑」なんです。イエス様は、これから、普通の人間の中で暮らしていきます。みんなが一生懸命に働いて、毎日の食べ物を用意します。だから、イエス様も、エイ、ヤッなんてしないで、みんなと同じに働くつもりです。イエス様はこれから、そういう人間たちに、神の国のお話をしていかななくてはならないのですからね。

サタンは、それを邪魔するために出てきました。何かあるごとに、「イエス様、イエス様...」と近寄ってきては、いろいろな誘惑をしていきます。でもね、イエス様はそんな言葉に動かされません。それに、ライオンが、エイって追い払います。ゾウやキリンもサタンが近寄るたびに邪

魔します。その間中、天使たちは、しっかりイエス様のことを守っていました。

四十日間、(ずいぶん長いよね)が経ちました。荒れ野は、何も無いところだけれど、イエス様は心がとっても落ち着きました。とうとう悪魔サタンは去り、守ってくれていた動物たち、天使たちともさよならしました。イエス様の心は、しっかりと、これからのお仕事、村や町に住む人々に、神の国のお話をしていく気持ちでいっぱいになりました。こうして、イエス様は、出かける準備ができました。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は ” こどもさんびか ” (日キ版) より

60番

改訂80番

話してみよう

- ・ 霊について
人間には身体と心(魂、精神) 人の霊とは? 聖霊とはどんな方でしょう
- ・ 荒れ野について
どんな所でしょう 飲物、食物が何もない。石、岩、平らでないきびしいところ
恐ろしい動物や危険が多いところ 人の心が試される場所
- ・ どんな試練にも勝利されたイエスさま
聖言で勝利されましたね そして天使が仕えました。

やってみよう

B5白紙を2つ折りにしておく。
左の手を折り目に合わせて手のひらを上にし、輪郭をエンピツでなぞり、その線をハサミで切り抜く。開くとおいのりの手となる。
手のひらに今日の聖言を書く。

